

平成28年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立串本古座高等学校古座校舎

学校長：愛須 貴志

目指す学校像 ・ 育てたい生徒像	- 生徒一人ひとりの能力を最大限に伸ばし、地域の教育、文化の拠点としての役割を果たすことができる信頼される学校。 - 自立した市民として豊かな個性と高い志を持ち、社会の担い手として活躍できる生徒。
------------------------	---

本年度の重点目標 (学校の課題に即し、精選した上で、具体的なかつ明確に記入する)	- 確かな学力の育成に向けて、個に応じた指導を充実し、「わかる授業」に向けた取り組みを推進する。 - これからの社会の変化に対応し、社会人として自立していくことができる態度を育てる。 - 地域と連携して、防災教育やE S D推進していく。
---	---

成 度	A	十分に達成した (80%以上)
	B	概ね達成した (60%以上)
	C	あまり十分でない (40%以上)
	D	不十分である (40%未満)

学校評価の結果と改善方策の公表の方法
ホームページ、学校評議員会、育友会総会等の機会を活用して公表。

自 己 評 価						
重 点 目 標				年 度 評 価 （3月24日 現在）		
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 取 組	評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 率 次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 方 策
1	全体的に、授業態度は比較的落ち着いている。生徒の学力差は大きく、進路志望も多様であり、それぞれへの対応が必要である。 現在の良好な学習環境を維持するとともに、自ら主体的に学びながら成長できる環境づくりや、そのための家庭学習の充実が必要である。	より良い授業を構築する中で、生徒の意欲や態度などを多面的・多角的に理解する工夫ができているか。 生徒の理解度を把握し、個に応じた指導ができていくか。	・A Lを取り入れた授業改善に取り組むと共に研究授業を実施することで、教員の授業力の向上を図る。 ・日常の学習環境を整備する。 ・授業評価等を活用しながら、生徒の理解度を把握し、学習指導を工夫・改善する。	・研究授業の実施と授業力向上に結びつく研究協議及び研修の実施。 ・清掃の徹底 ・授業規律の確保 ・授業満足度の向上。 ・情報交換会や授業改善に向けての諸委員会の実施	・今年度は正式な形での研究授業は実施しなかったが、6月の教育実習期間中に実習生を囲んで、教員と実習生とで授業についての話し合いの場を何度か持った。 ・学習環境は、生徒による清掃は行き届いているが、施設・設備の部分では課題が多い。 ・授業評価アンケートは例年どおりに実施、結果は例年どおり、概ね良好であった。各教科での分析も実施した。	B ・更なる授業改善の推進 →ICTの活用方法、言語活動やアクティブラーニングの手法の導入について、より研究を進める。授業評価の更なる活用を進める。 ・施設の老朽化が進んでおり、何らかの対策が必要である。→事務室と協力し、優先順位を付けて対応していく。
2	生徒一人ひとりとはよく努力し、進学や就職等、生徒の進路実現について一定の成果をあげている。しかし、自ら主体的に自己の進路実現を図ろうとする気概に欠ける所がある。 生徒個々の進路実現に向けた系統的なカリキュラムの編成、授業内容の精選や授業方法の改善に組織的に取り組むとともに、様々な学習活動を充実させる必要がある。	生徒の自己実現を促し、自らの将来を見据えることができる力をつけているか。 また、そのために、3年間を見通した系統的なカリキュラムおよび授業内容となっているか。	・基礎基本から発展応用まで生徒個々に応じた学力向上を図り、生徒の進路実現に結びつける。 ・個人面談や保護者面談によるキャリアカウンセリングを実施する。 ・総合的な学習の時間やキャリア講演会等、生徒の自己実現を促す取り組みを実施する。 ・インターンシップなど社会体験をする機会を設定する。	・校内基礎学力テストおよび各種補習の実施。 ・遅進者補習や進学補習等、個々の実態にあわせた補習の実施 ・三者面談の実施。 ・就職主任、就職指導員との面談。 ・「E S D」「世界遺産教育」「防災教育」等の取り組みの推進。 ・効果的なインターンシップの実施。	・校内基礎学力テストや進学対応模擬試験を実施し、生徒個々に応じた学力向上を図り、生徒の進路実現に結びつけることができた。今年度は進学希望者が多かったが、一定の成果を上げることができた。 ・個人面談や保護者面談等については概ね実施できた。 ・ESD体験学習や世界遺産フィールドワークをジオパークガイドと連携した形で実施することができた。 ・インターンシップは8月に希望者を対象として実施した。生徒個々の意識が高く各事業所から高い評価をいただいた。	B ・就職未決定者への対応を進める→今年度は早い時期から指導を進められたが、この体制を継続、進化させる。またハローワークや地域若者サポートステーション等関係機関等との連携をより深めていく。 ・校舎間の情報共有、連携については概ねとれていたが、今後もより一層の進展が必要である。→両校舎の3学年、進路指導部合同の進路行事の開催。両校舎の情報共有をさらに進める。
3	津波への対応などの防災教育を進めることは喫緊の課題であり、様々な事態を想定しての訓練が必要である。 また古座校舎の特色ある教育活動であるESDを地域と連携して、さらに進めていく必要がある。	生徒の防災意識を高めるための具体的な取り組みが十分に展開されているか。 また、ESDの視点に立った種々の取り組みが行われているか。	・実践的な防災訓練を計画・実施する。 ・防災教育を通して生徒の「自・助、共助、公助」の意識を高める。 ・防災訓練等で、地域と連携した取り組みを推進する。	・高校生防災スクール等の防災教育の推進。 ・日頃から、様々な機会を捉えての具体的な啓発活動の実施。 ・「ESD」「世界遺産教育」「防災教育」等の取り組みの推進。	・生徒指導上の大きな問題点はなかった。生徒特別指導は2件だった。 ・地震等発生時の校外への避難訓練を行った。防災に係る地域との連携も深まってきた。 ・継続したASや避難訓練の実施をとおして、生徒の意識高揚も図った。	A ・身だしなみや基本的な生活習慣の確立にむけ課題のある生徒への指導が必要→個別の対応を強化し規範意識の向上を図る。 ・いじめ撲滅→人権学習等の取り組みや、学期ごとのアンケートの活用を更に進める。 ・防災教育の推進→より実践的な訓練を実施していく。

学 校 関 係 者 評 価
平成29年2月実施
学校関係者からの意見・要望・評価等
○アンケート結果 アンケートは、①本校の教育方針や教育指導目標の重点が分かりやすく示されていると思いますか。②本校は保護者や地域の方々との情報交換や意見を取り入れ活かす機会を設けていると思いますか。③本校には、他の学校にない特色があると思いますか。④本校は地域等の活動に対して協力的であると思いますか。⑤本校では、生徒の状況に応じ、充実した授業が行われていると思いますか。⑥本校では、基本的な生活習慣や規範意識を身に付けるため適切な指導が行われていると思いますか。⑦本校の学校行事等は活発に行われていると思いますか。⑧本校では、生徒会活動や部活動に熱心に取り組んでいると思いますか。⑨本校では、生徒の健康や安全に関する指導が適切に行われていると思いますか。⑩本校では、校舎、校庭、教室の環境美化や整備ができていますか。⑪本校の生徒は、明るく生き生きと学校生活を送っていると思いますか。(12)上記の①～⑪を総合評価してください。以上の12項目で実施。⑦、⑧⑩の項目についての評価は高かったが、④、⑨、⑩の項目については、他と比べて低かった。特に④については、「そう思う」と回答したのがゼロであったため、今後の課題とした。 自由記述欄には、「残り2年間ですが、子どもたちのためにご指導よろしく願います。」「学校(教職員、生徒)だけでなく、保護者、地域と協力してよりよい学校づくりをお願いします。」というものがあつた。 ○学校評議員会(地域協議会)での意見 生徒の様子や教員の指導について、概ね好意的な意見を頂いた。また、古座校舎の残り2年間の教員配置に危惧する声があったが、管理職から説明を行い、理解を求めた。